

7 月 31 日：VN 指数は好転

ビンググループ（VIC）とベトコムバンク（VCB）の 2 銘柄は値下がりして終えたが、その他の大型銘柄の上昇のお陰で VN 指数は上昇して取引を終えた。

VN 指数は 5.64 ポイント（0.57%）上昇し 991.66 ポイントで取引を終えた、150 銘柄の上昇に対し 167 銘柄が下落した。火曜日は下落していたが、7 月最後の取引で前向きな回復を見せた。上昇は小幅だが、投資家心理を改善させた。

出来高は 12%増加し 1 億 7200 万株、売買代金は 36%増加し 4.9 兆ドンだった。

前場は冴えない動きだったが、ビンホームズ（VHM）、ビンコムリテール（VRE）、ホアファットグループ（HPG）のような大型株への資金流入が加速したことを受けて後場に大きく反発した。

ビンググループ子会社の VHM と VRE はそれぞれ 5%と 3%上昇して取引を終え、指数を牽引した。

ホアファットグループ（HPG）も 4.8%上昇し 22,500 ドンで取引を終えた。モバイルワールドインベストメント（MWG）も 3%上昇し、軍隊商業銀行（MBB）、PV パワー（POW）なども大きく上昇した。

VIC と VCB は下落したが、0.5%ほどの小幅な下落だった。

FLC ファロス建設（ROS）と FLC グループ（FLC）は出来高がそれぞれ 950 万株、790 万株だった。しかしながら両銘柄は下落して取引を終えた。

相対取引では 4200 万株が取引され、代金にして 2.2 兆ドンほどであった。その内 1.1 兆ドンが VIC で、TPB が 1090 億ドンだった。

市場の関心は FRB の利下げにあると MB 証券はデイリーレポートで語った。

銀行株ではなく、小売り、食品、水産セクターが投資家の注意を惹くと期待されることだった。

バオベト証券によると、VN30 指数の入れ替えが大型株を思わぬ方向に向かわせる可能性があるとのことだった。

ハノイ取引所の HNX 指数は続落。104.43 ポイントで引け、73 銘柄の上昇に対し 90 銘柄の下落だった。出来高は 3600 万株で売買代金は 1040 億ドンだった。

アジアコマーシャル銀行（ACB）の下落を除き多くの大型株が上昇した。サイゴンハノイ銀行は変わらずだったが、900 万株の出来高で市場の流動性に貢献した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。